

事業所名 みどり学園

公表日 令和8年3月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
営 ・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		1	該当なし。2件 直接支援ではないため教材を使用していない。2件	間接支援の形態であるためみどり学園の保育所等訪問支援には教材使用が想定されません。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			事業を利用したいという要望には適切に応じられる体制を整えております。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	2	訪問支援担当者間ではPDCAサイクルに参画できていない、または課題であるという記載が2件	訪問支援にかかる時間(訪問、記録や報告書、計画作成)の所要時間の検証をし、効率化を図りつつの目的が果たせるように考えます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			毎年、保護者に事業所評価をお願いしています。評価内容により支援内容を見直ししています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			毎年、職員が自己評価をしています。評価内容により支援内容を見直ししています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		児童発達支援事業が令和8年2月に実施しました。保育所等訪問支援と関連している内容があり、その結果をこの事業にも反映させています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	地域支援を行うためのスキルアップの機会があれば参加したい。1件	児童発達支援事業と兼務の職員として発達支援スキルの上昇のため各種研修を計画しています。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			所属園での姿やご家族からの情報を合わせてアセスメントし、個別支援計画に反映させています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		多職種の意見による検討を重ね、計画が作成されている。1件	個別支援計画策定会議を実施し、訪問支援員や児童発達支援管理責任者などで検討しています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先の職員に説明し、事前に同意を得たうえで計画している。1件	訪問先の担当者の方には、子どもさんと関わる上での思いや大切にされているところをお伺いしています。そして実施する訪問支援の方向性を事前に説明しています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			複数の職員で担当する場合、訪問の都度、児童発達支援管理責任者に報告し、計画に沿った支援になっているか確認しあうことを心掛けています。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		所属園での姿の観察を通してアセスメントしていくことが中心の支援です。個別に時間を設定してフォーマルアセスメントすることは難しいことがあります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			ガイドラインを職員に回覧しています。事業所が行う訪問支援は本人支援のうちの間接支援、そしてご家族の思いを踏まえながら実施する家族支援を軸に支援内容を組み立てています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			11と同じ
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			通常の訪問支援は一人で訪問しています。訪問前に児童発達支援管理責任者と支援内容を確認するようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			訪問後に児童発達支援管理責任者と支援内容を確認するようにしています。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			所属園の保育、教育方針を理解し、尊重した訪問支援を心掛けています。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			記録を詳しくとり、訪問した職員でなくても様子がすぐわかるようにしています。その情報から次の訪問の観察の視点を再考したり、ご家族への助言の方向を見直したりしています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			定期的な見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	セルフプランであり関係機関が少ない児は会議自体が開催されない。1件 担当保健師や保育園とインフォーマルな情報共有ができています。1件	訪問支援を利用する子どもさんの担当者会議が開催されることは少ない状況です。保健師や所属園、リハビリ機関等と横のつながりを持ち、情報共有できるよう努めています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		20と同じ
	22	就学時の移行の際には、保育園、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			就学年齢の子どもさんの保護者が、就学先を考えていくうえでこの訪問支援を利用されています。直接学校と情報共有する機会はありませんでしたが就学後を想定した情報を、保護者や所属園の担当者にお伝えするようしています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1		訪問支援員が、児童発達支援センターの職員と兼務をしており、支援スキル向上の為の研修を随時計画、参加させています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		児童発達支援として実施。1件	児童発達支援センターとして、毎岡山市の自立支援協議会のこども支援部会として参加しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		面談や電話の機会を持ち、子どもの様子を共有している。1件	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	該当なし。1件	今年度の訪問支援は、家族の子育てに関する課題でなく、集団生活の適応状況や、就学先検討がニーズでした。今後、そのようなニーズのある保護者に対しては情報提供を心掛けていきます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			事前訪問時に訪問支援の目的や内容を説明するようにしています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1	訪問支援の目的達成のために自然な場面での観察が必要な場合、子どもさん自身の意向確認ができない場合がある。1件	保護者の意向を確認し、支援計画に明記しています。常に子どもさんの最善の利益優先を踏まえて計画しています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			必ず、保育所等訪問支援計画を保護者にお見せし、同意を頂くようにしています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		電話等で積極的にお話するようにしている。1件	訪問支援期間終了後も気軽にご相談して頂けるよう雰囲気作りをしています。今年度も保護者の悩みをお電話等でお聞きし、必要な助言をしました。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2	該当なし。1件	児童発達支援センターとして保護者同士つながることや兄弟児支援が大切と考えています。事業所で行う訪問支援についてはこのニーズを求められていませんでした。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			受付窓口、対応を含め、保護者の申し入れに対応できるように体制を整えています。そのことを保護者には重要事項説明書で説明しています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2	該当なし。1件	パンフレットには事業のことを説明していますが、個別性の高い支援であるため定期的な通信やSNSでは活動概要を発信していません。このサービスを必要な方に広く知って頂けるようなことを考えていく必要があります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		視覚支援が必要な子どもに配慮している。1件	この事業を利用されている子どもさんと保護者の方には、情報伝達に配慮が必要な事案はありませんでした。児童発達支援センター全体では見えにくさ、聞こえにくさ、感覚過敏等のコミュニケーションの難しさをかかえる子どもさんや保護者の方に配慮しています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			訪問先とは十分なコミュニケーションを図り、相談や情報共有を相互に行うようになっています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			訪問日には訪問先施設に時間をとって頂き、カンファレンスを実施しています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			訪問後には、その都度保護者に来所して頂き、面談をしています。その中で、支援内容を詳しく報告させて頂いています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			項目37の通り、訪問先とはしっかりコミュニケーションを図ることに努めており、相談や助言のやりとりの中で信頼関係を育んでいると捉えています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			児童発達支援センターとして各種マニュアルを整備しています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			児童発達支援センターとして安全計画を作成し、研修や訓練を実施しております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			児童発達支援センターとして、実施している全事業のヒヤリハットや事故を共有し、再発防止策を検討しています。またその結果を法人内で共有しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			児童発達支援センターとして虐待防止委員会が組織され、虐待防止のしくみ作りや研修の機会をもっています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			児童発達支援センターとして身体拘束適正化委員会が組織され、身体拘束適正化のしくみ作りや研修の機会をもっています。この事業では該当していませんが、やむを得ず行う場合には保護者に説明し、事前に計画に記載する一連の流れを実施します。